

# やる気と感動

学校だより 16号

平成28年

11月28日(月)

## = 感動の音楽発表会 南部中の誇り高き文化 =

三年生の学年合唱『ひめゆりの塔』が終わり、会場は大きな感動と満足感に包まれました。三週間足らずの短い取り組み期間の中で良くここまで仕上げてきたと感心し、生徒達をとて誇らしく感じました。その後更に、講師の芦沢真一先生が、テノール独唱『'O sole mio!』を特別に演奏してくださいました。私たちのすぐ目の前での演奏で、その迫力と響きが体全体に伝わってくる素晴らしい歌声でした。しかし、その素晴らしい演奏も、南部中の音楽発表会の演奏の一つとして違和感がないくらい、みんなで創り上げた合唱は素晴らしいものでした。それは学級や学年の先生方も含めて、まさにみんなで創り上げてきたからだと思います。昼休みやちよつとした時間を使い自主練習をしたり、技術的な面もアドバイスし合えるようになったり、映像や読み物資料で作品の背景・情景や訴えたいことを深く理解したり、学級間・学年間で練習会や交換会を実施したり、取組が進むにつれてより主体的になり活動自体が充実してきたと思います。市川高校音楽部の葉袋先生と生徒の皆さんや芦沢先生の事前講習会も、『学ぶ気持ち』を持った皆さんにはとても効果的だったと思います。

<講師；芦沢真一先生の講評>

とても素晴らしい発表会でした。全体の声が素直でとてもきれいでした。歌声には普段の生活態度が現れます。南部中生徒の皆さんの普段の生活態度が良い証拠です。そして学年が進むにつれとても良い合唱になっています。三年生にとっては、この学級・学年で歌えるのもあと数ヶ月です。卒業までの期間で皆さんしかできない合唱を是非楽しんでください。

<以下、学年合唱（二曲目）への講評を掲載します。>

一年生；後半に行くに従って声のびのび出てきて良かったです。初めての発表会での緊張の中、良い合唱ができたと思います。歌い出す前の準備がもっと早くできるといいですね。

二年生；やはり二年生になると大人っぽくなりますね。これだけ良く歌えていると、三部合唱ではなく四部合唱でも良かったかな、なんて思います。もう少し声のトーンが明るくなると良いかな。

三年生；さすが三年生！迫力のある素晴らしい合唱です。三年生の一体感が伝わってきました。指揮者も素晴らしい。卒業へ向けてこの調子で、南部中の三年生にしか作れない合唱を楽しんでくださいね。素晴らしい合唱をありがとうございました。

三年生の感想発表では、一・二年生の合唱や取り組みまでをきちんと評価し、三年生の取り組みの過程をしっかり総括し、これから受験に向かう決意も感じられる素晴らしい感想発表でした。

創立6年目の音楽発表会は、輝城祭での合唱のレベルを越え、南部中の合唱は私たちの誇り高き文化、伝統になりました。一・二年生は来年度も今年を越える合唱を目指して頑張ってくれることでしょう。

この音楽発表会の成果を、普段の学校生活に、部活動に、受験勉強に、そして一人一人の心の成長へと結びつけていくことが、これからの課題であり、大きなチャンスでもあります。

保護者の皆さん、ご家族の皆さん大勢の皆さんの応援ありがとうございました。また、学校運営協議会委員の方々や卒業生、地域の皆さんにもお越しいただき、お褒めの言葉をいただきました。約300名という多くの方に見ていただけることは、生徒にとっても学校にとってもとても励みになります。心より感謝申し上げます。

## = 第三回学校運営協議会開催 =

音楽発表会終了後、学校運営協議会が開催されました。ほとんどの委員さんが音楽発表会も聴いていただいたあとの会議でしたが、二時間以上に渡り熱心な意見交換が行われました。合唱のレベルの高さ、取り組みの良さなどに高い評価をいただいたり、学力向上への取り組み、いじめ問題に関するご質問やご意見をいただきました。皆さんの南部中を支えていこうという、熱意を強く感じられる中身の濃い会議でした。大変ありがとうございました。